



i・りんぐ通信

Vol. 36

2023年 1月発行



がんになっても、過ごしたい場所で暮らせるように

住み慣れた場所での生活を続けながら、自分らしい毎日を送ることができるような仕組みづくりが、地域で進められています。

最近では、自宅で「訪問診療」や「訪問看護」などの医療を受け、訪問介護や介護ベッド、車いすなどの福祉用具をレンタルする「介護保険」を利用し、自宅での暮らしを続ける人が増えてきました。



※介護保険サービスの利用には、年齢や要介護度により制限がある場合があります。

また、薬の開発が進み、自宅でも痛みや苦痛を軽減することができるようになってきました。

- ・これからの療養生活をどのように過ごしたいですか？
- ・自宅での療養は無理だと決めつけずに、ひとつの選択肢として考えてみませんか？

家で過ごすには
何から始めたら
いい？

お金はどれく
らいかかる？

活用できる制度、
介護・福祉サー
ビスを知りたい

私たちと一緒
に考えさせて
ください



がん相談支援センターでは、院内担当部署、地域の医療・福祉関係者と連携をはかり、相談対応させていただきます。
まずは身近な担当医や看護師等にお声かけください。



タオル帽子のご案内

抗がん剤治療の副作用による脱毛でお困りの方にタオルで作成した帽子をお渡ししています。

必要な方は、身近な医療スタッフやがん相談支援センターにお声かけください。



材料となるタオルの寄付を受付けています。未使用であればタオルの種類は問いません。

【がん相談窓口を設置しています】

- ① 総合案内横(玄関カウンター右側)
受付時間 9:00~12:00
- ② がん相談支援センター
(本館1階 患者総合支援センター内)
受付時間 8:30~17:15

●発行・問い合わせ

市立長浜病院がん相談支援センター

TEL 0749-68-2354

メール soudan@nagahama-hp.jp

